



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月14日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス 上場取引所 東  
 コード番号 3177 URL http://www.arigatou-s.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井本 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)平川 俊之 (TEL) (0898)23-2243  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,733	2.3	217	9.9	216	13.6	112	22.6
26年2月期第2四半期	3,651	5.0	198	△5.6	190	△8.5	91	△5.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	118.25	—
26年2月期第2四半期	96.05	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,791	1,354	35.7
26年2月期	3,715	1,328	35.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,354百万円 26年2月期 1,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	75.00	75.00
27年2月期	—	0.00			
27年2月期(予想)			—	82.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,688	3.7	508	6.3	487	4.7	236	12.5	250.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	953,600株	26年2月期	953,600株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	8,735株	26年2月期	235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	949,808株	26年2月期2Q	953,494株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、政府の経済政策等の効果により、株価が回復し、様々な業種で企業収益が改善するなど、緩やかな景気回復傾向が続いております。しかしながら、さらなる消費税率引き上げの懸念が今なお続いていることや、円安の進行や燃料費の高騰による仕入コストの上昇、海外経済の影響の懸念などにより、先行き不透明な状況は依然として続いております。

こうした状況のもとで、当社におきましては、出店による売上拡大、人材の育成と既存店の更なる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間は、3月にオフハウストリアス久山店（福岡県）を増床オープンしました。また、4月に松山初出店となるホビーオフ松山南店（愛媛県）、7月にはハードオフ/オフハウス鹿屋店（鹿児島県）を計画通り出店しました。この結果、当社の店舗数はリユース事業78店舗、フードサービス事業32店舗、合計110店舗となりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,733,851千円（対前年同四半期比2.3%増）、営業利益217,933千円（同9.9%増）経常利益216,061千円（同13.6%増）、四半期純利益112,310千円（22.6%増）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

## (リユース事業)

当第2四半期累計期間におきましては、買い取りの強化と付加価値を高める商品づくりに努め、粗利益率の改善を図ってまいりました。また、買い取った商品を即座に売場に出して機会損失を減らすとともに、お客様目線の売場づくりを進め、売上高の増加に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,532,459千円（対前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益（営業利益）285,453千円（同20.2%増）となりました。

## (フードサービス事業)

当第2四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動を、オリジナルブランド事業においては燃料費や原材料費の高騰に対応すべく仕入先の見直しや原価率の管理に努め、その影響を最小限に食い止める努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,201,391千円（対前年同四半期比2.0%増）と増収となりましたが、原材料費、水道光熱費等のコスト増加により、セグメント利益（営業利益）73,830千円（同15.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて46,805千円増加し、1,731,289千円となりました。商品が35,907千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて29,340千円増加し、2,055,795千円となりました。有形固定資産が25,591千円増加、投資その他の資産が7,307千円増加したことが主な要因であります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて57千円減少し、4,602千円となりました。特に大きな変動はありません。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて76,089千円増加し、3,791,686千円となりました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて63,975千円増加し、1,054,410千円となりました。買掛金が35,849千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて14,215千円減少し1,382,843千円となりました。社債が110,000千円増加、長期借入金140,688千円減少したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて49,759千円増加し、2,437,253千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて26,329千円増加し、1,354,433千円となりました。利益剰余金が40,808千円増加したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5,335千円減少し、606,709千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、285,619千円(前年同四半期は得られた資金188,909千円)となりました。税引前四半期純利益が32,732千円増加、たな卸資産の増減額が69,878千円減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、112,824千円(前年同四半期は使用した資金211,601千円)となりました。有形固定資産の取得による支出が93,406千円減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は178,130千円(前年同四半期は得られた資金126,779千円)となりました。長期借入れによる収入が120,000千円減少、長期借入金の返済による支出が175,465千円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月14日に公表しました「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,551	652,022
売掛金	40,868	48,867
商品	850,901	886,808
貯蔵品	3,648	3,770
その他	134,128	140,645
貸倒引当金	△615	△826
流動資産合計	1,684,483	1,731,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,012,898	1,007,010
その他(純額)	328,960	360,440
有形固定資産合計	1,341,859	1,367,451
無形固定資産	18,499	14,941
投資その他の資産		
差入保証金	410,550	414,017
その他	260,190	264,046
貸倒引当金	△4,645	△4,662
投資その他の資産合計	666,095	673,402
固定資産合計	2,026,454	2,055,795
繰延資産	4,659	4,602
資産合計	3,715,597	3,791,686
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	72,771	108,621
1年内返済予定の長期借入金	298,447	284,731
1年内償還予定の社債	187,000	185,250
未払法人税等	140,876	113,363
その他	291,339	362,444
流動負債合計	990,435	1,054,410
固定負債		
社債	234,000	344,000
長期借入金	570,517	429,829
退職給付引当金	-	2,176
役員退職慰労引当金	35,133	38,395
資産除去債務	357,496	371,380
その他	199,911	197,062
固定負債合計	1,397,058	1,382,843
負債合計	2,387,493	2,437,253

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	714,053	754,861
自己株式	△401	△16,891
株主資本合計	1,324,667	1,348,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,436	5,447
評価・換算差額等合計	3,436	5,447
純資産合計	1,328,103	1,354,433
負債純資産合計	3,715,597	3,791,686

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,651,562	3,733,851
売上原価	1,261,530	1,230,247
売上総利益	2,390,031	2,503,604
販売費及び一般管理費	2,191,813	2,285,671
営業利益	198,217	217,933
営業外収益		
受取利息	188	462
受取配当金	511	599
不動産賃貸料	16,838	15,209
その他	12,563	13,999
営業外収益合計	30,102	30,271
営業外費用		
支払利息	14,179	10,102
社債利息	2,769	2,606
不動産賃貸原価	19,031	16,936
その他	2,132	2,497
営業外費用合計	38,113	32,143
経常利益	190,206	216,061
特別利益		
固定資産売却益	0	91
特別利益合計	0	91
特別損失		
固定資産売却損	-	582
固定資産除却損	855	1,482
減損損失	7,995	-
特別損失合計	8,851	2,065
税引前四半期純利益	181,356	214,088
法人税、住民税及び事業税	91,600	104,530
法人税等調整額	△1,828	△2,752
法人税等合計	89,771	101,777
四半期純利益	91,585	112,310



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	181,356	214,088
減価償却費	113,509	127,795
のれん償却額	4,043	2,547
長期前払費用償却額	8,305	8,139
減損損失	7,995	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	395	228
退職給付引当金の増減額(△は減少)	-	2,176
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,587	3,262
受取利息及び受取配当金	△700	△1,062
支払利息	14,179	10,102
社債利息	2,769	2,606
社債発行費償却	1,738	2,074
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	490
固定資産除却損	855	1,482
売上債権の増減額(△は増加)	△7,994	△7,999
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,956	△36,078
前渡金の増減額(△は増加)	△8,028	-
仕入債務の増減額(△は減少)	31,841	35,849
未払金の増減額(△は減少)	27,247	36,073
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,318	26,555
リース資産減損勘定の取崩額	△2,647	△2,354
その他	866	2,488
小計	277,683	428,468
利息及び配当金の受取額	698	1,061
利息の支払額	△17,826	△11,985
法人税等の支払額	△71,645	△131,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,909	285,619
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△48,105	△43,113
定期預金の払戻による収入	82,100	41,306
有形固定資産の取得による支出	△192,282	△98,876
有形固定資産の売却による収入	-	552
資産除去債務の履行による支出	△2,379	-
無形固定資産の取得による支出	△1,363	△541
投資有価証券の取得による支出	△1,170	△1,213
長期前払費用の取得による支出	△10,093	△10,830
差入保証金の差入による支出	△10,434	△5,377
差入保証金の回収による収入	4,941	3,426
投資不動産の取得による支出	△1,900	-
預り保証金の返還による支出	△1,800	-
貸付けによる支出	△30,000	-
貸付金の回収による収入	886	1,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,601	△112,824

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△158,939	△334,404
社債の発行による収入	177,644	197,982
社債の償還による支出	△91,750	△91,750
リース債務の返済による支出	△33,562	△42,020
自己株式の取得による支出	△218	△16,490
配当金の支払額	△66,394	△71,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,779	△178,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,087	△5,335
現金及び現金同等物の期首残高	631,574	612,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	735,662	606,709

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	66,747	70	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	71,502	75	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,473,809	1,177,752	3,651,562	—	3,651,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,473,809	1,177,752	3,651,562	—	3,651,562
セグメント利益	237,527	87,644	325,172	△126,954	198,217

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,532,459	1,201,391	3,733,851	—	3,733,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,532,459	1,201,391	3,733,851	—	3,733,851
セグメント利益	285,453	73,830	359,283	△141,349	217,933

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。